

令和８年度 京都府立城陽支援学校 高等部職業学科〈ビジネス総合科〉 入学選考実施要項					
募集学科	ビジネス総合科			募集定員	20 名
通学区域等	山城教育局管内				
求める生徒像	ア 学校や社会のルール及びマナーを守り、思いやりと協力を大切にする生徒 イ 何ごとにもあきらめず、地道に努力を続ける強い意志を持ち、集団の中で役割を果たそうとする意識の高い生徒 ウ 卒業後、企業就労し地域・社会の発展に貢献しようとする生徒				
提出書類等	ア 入学願書（高等部職業学科）（様式３の１） イ 入学願書（高等部職業学科）（様式３の２） ウ 受検票（写真貼付）（様式３の３） エ 京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書（職業学科）（様式３の４） オ 報告書（様式３の５、様式３の６及び様式３の７） 志願者の教育課程に応じて選択し、使用すること。 カ 特別な支援を必要とすることを証明する書類（（ア）もしくは（イ）） （ア）療育手帳（写）又は医師が作成する診断書（写） （イ）療育手帳取得に係る確認書（高等部職業学科）（様式３の８）				
願書提出先	住所の存する市町（組合）教育委員会とする。ただし、次の場合は、京都府立城陽支援学校へ提出すること。（ア 特別支援学校（京都府立以外のものを含む。）中学部に在籍する者が入学を希望する場合 イ 通学区域外に保護者の住所がある者が入学を希望する場合）				
検査項目	総合		適性Ⅰ	適性Ⅱ	面接
	国語	数学	70 分	70 分	個人面接
	各 30 分				10 分程度
検査内容等	総合、適性、面接の検査により、職業学科の学習に必要な意欲・態度、作業能力、対人関係能力、基礎学力等を総合的に把握する。				
	総合	国語：日常生活に必要な国語についての理解、伝える力、それらを活用する能力をみる。			
		数学：日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解、それらを扱う能力をみる。			
	適性	適性Ⅰ：文具など身の周りにある道具を使い、作業の正確さや丁寧さ、持続性、指示理解等をみる。 適性Ⅱ：身体の動きや基礎的な体力、指示理解等をみる。			
面接	面接者からの質問に口頭で答え、職業学科で学ぶ意欲・関心・態度や適性、志望理由、コミュニケーション力をみる。				
検査会場	京都府立城陽支援学校				
集合時間	令和８年１月 29 日(木)午前 9 時 00 分・１月 30 日(金)の指定された時間				
検査実施時間割	令和８年１月 29 日(木)			令和８年１月 30 日(金)	
	9:00	集合			個人面接 10 分程度 後日指定する時間に集合
	9:45～	総合（国語、数学）（休憩を含む）			
	11:25～14:40	適性ⅠⅡ（昼休憩を含む）			
※２日間ともに、受検者本人のみで公共交通機関を利用して検査会場に来場する。（保護者の付き添いなし） ※気象状況や交通機関の乱れ等に伴う時間変更等は、各学校に連絡するとともに本校ＨＰにも掲載する。 ※入学選考追検査日 令和８年２月 6 日（金）					
持参品	①受検票 ②筆記用具（鉛筆（シャープペンシル可））③消しゴム及び鉛筆削り④体操服 ⑤上靴（体育館シューズなど運動のできるもの）⑥昼食（１月 29 日のみ）⑦お茶⑧タオル⑨下靴を入れる袋等				
合格者の決定	総合、適性、面接の検査及び提出された報告書をもとに、総合的に判断して合格者を決定する。				
合格者の発表	令和８年２月 9 日（月）				
その他	ア 「体験学習」及び「個別進学相談」に参加すること。 イ 原則入学辞退は認めない。 ウ 「令和８年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等入学希望者募集要項」にある「令和８年度京都府立特別支援学校高等部職業学科入学希望者募集要項」の「３志願者の資格」を確認すること。 ・公共交通機関を利用して、通学可能な者（ただし、特別支援学校校長がその他の手段で通学することを認めた者を含む。） ・企業就労を目指す意欲を有する者				